

金管楽器、生の響き堪能 茨城・鉾田の3小中学校 プロが演奏披露

2022年10月30日(日)

プロの音楽家の生演奏に触れてもらおうと、茨城県鉾田市内の小中学校で20、21の同日、金管楽器の奏者らによるコンサートが開かれた。児童生徒は迫力のある金管楽器の音色に聞き入った。

訪れたのは、出前公演をメインに活動する「ナナシオーケストラ」などのメンバー。金管五重奏(トランペット2、ホルン、トロンボーン、チューバ)団に打楽器奏者を加えた6人で演奏を披露した。



児童に生演奏を披露する音楽家ら＝鉾田市鹿田

21日の午前中は、同市鹿田の市立旭西小(二重作洋夫校長、児童109人)を訪問。アニメや運動会で使われるクラシック曲などを演奏した。曲の合間には、唇を振動させて音を出す金管楽器の特徴や、各楽器の音色なども紹介した。

中学校に進学後、吹奏楽部への入部を考えているという6年の浅野心実さん(12)は「生演奏の音は迫力があり、びっくりした。楽器の仕組みも教えてくれて楽しかった」と話した。

コンサートは、市の芸術文化創造事業の一環。同小を含む市内3小中学校で実施された。来年2月5日には、大洋公民館で同オーケストラの公演が予定されている。